



多面的機能支払交付金 活動事例紹介

～ 記憶にも残る、ふるさとのために ～



1. 組織の概要

上三谷地域資源保全推進会は、伊予市で活動する組織です。この活動組織は、平成19年度から交付金活動を開始しており、現在活動を行う対象農用地は、水田74.8haと普通畑32.5haで農地の多くは、水田です。組織の活動としては、農地維持、資源向上（共同・長寿命化）のすべてに取り組んでいます。



2. 生徒たちと協力して

例年、活動組織ではコスモス祭りを開催し、地域住民との意見交換・交流を図ってきましたが、今年度は自治会等による大きな祭りを開催するため、コスモス祭りを開催しないことになりました。しかし、地域の子供たちの思い出を作りたいとの強い思いから、初めての試みとして、コスモスアートに取り組むことにしました。種まきは中学校の生徒と協力し、コスモスの開花に併せて中学生と考えた絵をもとにコスモスを刈り取ることで、絵が浮かび上がる工夫をしました。



組織の代表は「種をまいて・図案を考え・アートが出来たことは、生徒達にとっては、大きな思い出の一つになったと思います。また、私たちにとっても合同で作品が出来上がった事は大きな財産となります。多面的機能支払交付金を活用して、ふるさとを残していきたい」と力強く話してくれました。



なお、この活動は、以下の項目に位置付けて活動をしております。

- ④遊休農地発生防止のための保全管理
- ④⑤植栽等の景観形成活動
- ⑤⑥啓発・普及活動
- ⑥⑦やすらぎ・福祉及び教育機能の活用
(一部抜粋)



3. これからについて

組織代表は「学校との連絡では、スマートフォンのコミュニケーションアプリを用いており、情報交換をスムーズに連携できる環境にあった。組織間でも、農業用施設等の補修が必要な場所の情報を共有している。便利なものはどんどん使っていきたい」と話していました。

